

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きで、体育の学習に一生懸命取り組む児童が多い。一方で、自分の課題からめあてを立て、解決することを苦手とする児童もいる。 ・運動の機会の減少もあるためか、令和4年度の体力テストの結果より筋力、筋持久力、全身持久力、投力の低下が見られる。 ・感染症予防対策のため、制限がある中での運動となっているため、運動の機会や協働学習の時間が少なくなっている。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な児童でも、運動に親しめるような、体育授業の工夫や日常的に運動に親しめるような工夫を行う必要がある。 ・自分の課題をつかみ、解決できるような掲示物などを示したり、運動に対する振り返りをする活動を学習中に位置付けたりするなど、児童の思考力・判断力・表現力等の学習を支援する必要がある。 ・それぞれの運動の楽しさを児童が十分に感じ、技能を身に付けられるようにする。そのため、2年間を見越した学習計画に基づいた指導と前年度までの内容の学び残しがないように留意する必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な体育学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料や映像などを掲示・活用し、担任がその運動の特性を押さえて授業研究をし、運動が苦手な児童でも熱中して取り組めるようなルールの工夫や場の設定をよく吟味した授業作りを行う。 ○体力向上週間の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上週間を利用して児童に身に付けさせたい運動の紹介をし、児童の興味、関心、意欲を高める。また、跳ぶ・投げる運動、なわとび・鉄棒運動、持久走に関する週間を設定し、毎年定期的に取り組ませることで体力向上を図る。 ○問題解決型・探究型の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、運動の特性に応じた課題をもって動きや技能を身に付けられるようにする。最善を尽くして運動をしたり、練習を工夫したりする中で、体を動かすことの楽しさを十分に味わえるようにする。 ○協働学習の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・集団で課題に取り組む学習機会を多く作り、よい動きを評価し合えるようにする。ゲームでは、ルールの工夫や作戦などを通して学習集団として高められるようにする。 ○ICT機器を使用し、映像や動画を用いた学習 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を導入し、児童が自分の運動している様子を確認したり、映像を見せながら友達にアドバイスしたりすることで、学び合いの場面を作り、児童の思考力・判断力・表現力等の育成を図る。 ○「1学級1取組」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果や児童の実態に合わせて、各クラスで「1学級1取組」を設定して、実践する。児童が継続的に楽しみながら課題を克服できるようにしていく。